

世評・時評

7月6日の嵐の夕べは如何だったでしょうか？どなたか感想文でも葵通信に寄稿して頂けると嬉しいのですが、宜しくお願ひします。

ある」と言います。木の橋の良さはすぐ流されるどころだとか。頑丈な橋は木材などの流出物を堰き止めてしまい、怒涛となって溢れ出てかえって危ない由。

の事ですが、理由は何にせよ、頑丈な橋で堰き止め、溜め、怒涛を爆発させなくては暗らせないほどの恨み、憎しみが高校生の交友に起きたのです。加害者の生徒の心に流れやすい「木の橋」があったなら……。

今回は「毒舌」を發揮して「死」についての考察である。「毒舌」というよりは「タプー」に挑戦」と言ひ換えたほうが良いかも知れない。それ程に現代日本社会では「死ぬ事」を死をどう捉えているかは多分に宗教的である。よって、欧米社会では社交のマナーとしては話題にしない不文律が存在する。日本もこれを表面的に真似た。表面的に……それがいつの間にか社会規範の如く出世したからか、

「死」と正面から取組まない時代を迎えている。一神教の信徒である西歐は、教義の中で「死」を教えられ、またそれを信じながら日々生活している。死ぬことは「神」の国に迎えられることであり、祝福されるべきことで、自身においては決してタプーでも何でもない。(中には地獄行の場合もあるが……)

「死」は地元の漁師が考へ出した保存食である。佃の盆踊りは毎年七月十三(十五日)、この路上に櫓を組んで行われる。秋の野分は無常の風よ、散れば残らず土にもなる。悟り開けば草木も陀仏(など)と唱えながら、ゆったりゆったりと踊りめぐる念仏踊りだ。明暦の大火の後、浅草浜町にあった本願寺別院を築地へ移す時に、水辺を築く労働に佃島の門徒衆が協力した。やがて寺が完成した延宝八年(一八六八)からこの盆踊りが伝えられてきたという。高度経済成長期に架けられた機能一点張りな味気ない佃大橋を渡る。



右…住吉神社 → 下…神輿 ↓ 右…天安 →

住吉神社は船の安全の神様として知られ、江戸十組問屋も信仰していた。神社は、酒や油を輸送する菱垣廻船や樽廻船に對して船手形を發行して往來を保障した。海の守り神というだけに石垣の奉納者を見ると、

美しい赤煉瓦の神輿蔵は大正五年の建築。中に取められた神輿は天保九年(一八三八)に造られて今も現役だ。五世川柳水谷緑亭の句碑や、佃小橋のたもとから移した浮世絵師写楽終焉の地の碑などもある。隅田川に面した一角には江戸漆器の中島や佃煮の天安、佃源田中屋、丸久があり、佃島渡船跡の碑が建つ辺りは最も雰囲気のあるところ。

しかし橋上からの眺めは良く上流の高層住宅とモダンな中央大橋の取り合わせがいい。対岸のセントルークスタワーと芝生を植えた緩斜面堤防と水辺の散歩道も珍しい風景である。

「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しております。担当飯島迄お申し出下さい。

東京江戸散歩 その拾遺 佃・月島・築地②

利用者さんの紹介コーナー

寺沢 六郎
 齢すでに三世に亘る今、花鳥を愛する現世(うつよ)に心ゆかしき女性を夢見て。



鈴木 栄
 葵に通い二年半たちます。こちらに来て皆様とお話をするのを楽しみにしております。趣味は、水墨画を十年やっております。



山崎 利聖
 国策の為に学業半ばで飛行隊に入隊し、父親に「お前は帰れないよ」と言われたが無事帰ることができ、リハビリに専念。田舎を楽しんでおります。



小野 善胤
 通所して二年、体調もだいぶよくなりました。

全快するまでがんばるぞ。



亀井 源昌
 葵さんへきてから一年半。足の筋肉がおちていましたが、なんとか現状を維持できるようにリハビリをがんばっています。



吉藤 淑子
 葵さんには体操を目的として来ていますが、いろいろな方とお話できることができ、大変楽しく過ごさせていただいております。



阿部 久子
 皆さまがいろいろな気遣いしてくださるので、安心してお世話になれます。元気でいるかぎり、こちらに通いたいと思います。



随筆

ホタル
 山田 良子

「ホタル、ホタル、ホタル来い。こっちは水は甘いよ。そっちは水は苦いよ」
 小さい頃こんな唄を歌って、ホタル狩りを楽しんだ思い出が六十一年ぶりに、今年、夢が叶いました。

東大泉七丁目の町田様のお庭一面は池、宵闇迫る頃、草叢の中から植え込みの中から、ピカリ！ピカリ！姿を見せて呉れたホタル。
 ホラそこに！ホラそこに！目の前のホタルに仲間のどよめきが聞

随筆

くちびる
 澤 道雄

私は、脳梗塞になって十年ほどになります。入院中は足の筋肉が衰え、それに失語症で会話が不自由になりました。ようやく杖の助けを借りて歩行が出来るようになりましたが、顔にも麻痺がありました。

私にくちびる体操を教えてくださいました。歯医者で使ったのが歯医者でした。今もたどたどしい会話ですが人様には自分が考えていることが通じるようになりまし

歴史

葵の場所は映画館？
 加藤 勇

こえ、楽しい時間を持てたことが本当に嬉しく、社長始め加藤勇様のご尽力により、永年の憧れがバット花開き、また来年も・・・と希望を貰った気がして、元気に通所出来るそうです。
 楽しい夢を有難うございました。
 葵のご発展をお祈りします。



以前、デイサービス葵の前身は映画館であった、という話に刺激され調べてみた。正解は加藤印刷所で、映画館は後者の建物だった。
 北野神社の例大祭の時に、数人の総代から聞いた話を総合的に勘案する所、現在葵の駐車場がある所、戦前缶詰工場があり、その後、清物工場になった。それが『泉俱樂部』という芝居小屋を経て『大泉名画座』になったらしい。
 昭和三十一年当時、練馬区内には七軒の映画館

映画

「戦国」
 露巻の記
 横山 裕



日本地図を作るために命懸けで仕事をした男達の物語「剣岳 点の記」を見て来ました。
 日露戦争後、国防のため日本地図完成が急がれる中、前人未踏とされた剣岳登山と測量を命じられた測量手、柴崎芳太郎(浅野忠信)と案内人宇治長次郎(香川照之)らの挑戦を描いた作品。名管も利も求めず、与えられた任事に黙々と献身する人達、すごい映画です。
 Tジョイ大泉にて
 (横山連峰)

俳壇「あおい」
 青空に
 飛ぶ不如帰
 初夏の朝



短歌
 かわせみの
 鳴く青に耳を傾ければ
 川の流れに
 清えて行くなり
 (共に)相田 美代子

葵友の会
 広報コーナー

八月度イベント予定
 第四回麻雀大会
 於雀荘「現代」
 八月十九日
 第十三回カラオケ大会
 於「愛海」
 八月二十一日
 暑氣払い「ガルメの会」
 於「梅の花」
 八月二十六日
 会自皆様の多数ご参加をお願い致します。
 (事務局長)

葵は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります